

2020. 11. 20

関係各位

寒冷な場面における新型コロナ感染防止対策についてのお願い

株式会社 全国鉄骨評価機構

今般、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会から、「最近の感染状況を踏まえたより一層の対策強化について」が提言され、国土交通省住宅局建築指導課建築物防災対策室より関係先への周知の要請がありました。提言では、換気の問題等、寒冷な場面における感染防止策について、冬期における換気等が十分なされるよう、「寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント」が示されています。全鉄評からお願いしています「工場審査における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（2020. 10. 14 改定版）」の参考資料として活用下さいますようお願いいたします。

「寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント」

<https://corona.go.jp/proposal/#coldRegion>

添付資料；

- ・慣例な場面における新型コロナ感染防止等のポイント
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」

以上

寒冷な場面における新型コロナウイルス感染防止等のポイント

1. 基本的な感染防止対策の実施

- マスクを着用
(ウイルスに移さない)
- 人と人の距離を確保
(1 mを目安に)
- 「5つの場面」 「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
○ 3密を避ける、大声を出さない

『5つの場面』

- 場面 1 : 飲酒を伴う懇親会
- 場面 2 : 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面 3 : マスクなしでの会話
- 場面 4 : 狭い空間での共同生活
- 場面 5 : 居場所の切り替わり

寒い環境でも換気の実施

2. 機械換気による常時換気を

- 機械換気による常時換気を
(強制的に換気を行うもので2003年7月以降は住宅にも設置。)
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で
常時窓開け (窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！)

また、連続した部屋等を用いた2段階の換気やHEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も考えられる
(例：使用していない部屋の窓を大きく開ける)

- 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により
1000ppm以下 (*) を維持

*機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。

3. 適度な保湿度 (湿度40%以上を目安)

- 換気しながら加湿を
(加湿器使用や洗濯物の室内干し)
- こまめな拭き掃除を



CO2センサー

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①

飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面②

大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③

マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイク口飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

